

**製品名: MAPKAPK-2 ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe21096**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

**応用**

希釈倍率	WB 1:2000-1:10000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:46kD;Observed MW:46,55kD

**抗原情報**

遺伝子名	MAPKAPK2
別名	MAPKAPK2;MAP kinase-activated protein kinase 2;MAPK-activated protein kinase 2;MAPKAP kinase 2;MAPKAP-K2;MAPKAPK-2;MK-2;MK2
遺伝子 ID	9261.0
SwissProt ID	P49137
免疫原	ヒト MK2 の合成ペプチド

**背景**

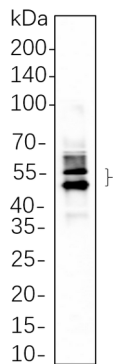
細胞局在: 細胞質。核。リン酸化とそれに続く活性化により自己阻害ヘリックスが解放され、核から細胞質への輸送が生じる。この

遺伝子は Ser/Thr タンパク質キナーゼファミリーのメンバーをコードする。このキナーゼは p38 MAP キナーゼによる直接リン酸化を介して制御される。p38 MAP キナーゼと連携して、このキナーゼはストレスおよび炎症反応、核輸送、遺伝子発現制御、細胞増殖など、多くの細胞プロセスに関与することが知られている。熱ショックタンパク質 HSP27 は、生体内でこのキナーゼの基質の一つであることが示された。この遺伝子には、2つの異なるアイソフォームをコードする2つの転写バリエーションが見つかっている。[RefSeq 提供、2008年7月]

## 研究分野

-

## 画像データ



ラット心臓全細胞ライセートを 10% SDS-PAGE で分離し、膜を MAPKAPK-2 ウサギモノクローナル抗体 (1:1000) でブロットングした。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG(H + L)抗体を用いた。